



原生林そして神秘の湖と、 手つかずの自然が身近な空港都市

北海道の中南部・石狩平野の南端に位置する千歳市は、人口約95,000人の街。北海道の空の玄関「新千歳空港」を擁し、物流拠点としても発展しています。西部には水と緑あふれる支笏洞爺国立公園があり、支笏湖から流れ出る千歳川が市街地を貫き、きれいな水を利用した飲料水工場、ビール工場、ワイン工場、醸造工場などの施設が点在しています。



取材・写真協力：千歳市観光スポーツ部観光振興課

① 支笏洞爺国立公園 支笏湖

しこつどうや
透明度が高く、日本屈指の水質を誇る支笏湖は、支笏洞爺国立公園に属するカルデラ湖。最大水深は360mに達し、厳冬期でもめったに凍らない“日本最北の不凍湖”としても知られています。



② 新千歳空港ターミナルビル

“北海道ショールーム”をコンセプトに、話題のグルメやファッションブランドのショップ、映画館、温泉、テーマパークなどの施設が充実。北海道の魅力をつつぷりと楽しめます。



③ 千歳・支笏湖 氷濤まつり

ひょうどう
1月下旬～2月中旬には、支笏湖の湖水を吹きかけて凍らせた水のオブジェが立ち並ぶ、千歳を代表するイベントが開催。夜には色とりどりの光でライトアップされ、幻想的な世界が広がります。



④ 山線鉄橋

千歳川河口にかかる英国製ダブルワーレントラス橋の通称は「山線鉄橋」。支笏湖に映る鉄橋のシルエットがノスタルジックな雰囲気を醸し出し、絶好の撮影ポイントになっています。



⑤ ハスカップ製品

ハスカップは新千歳空港周辺から勇払原野にかけて群生する甘酸っぱい果実。ジャムやワイン、菓子などの原料としても使われ、その栄養価の高さから美容・健康食品として注目されています。